

# 減らさず、糖尿病 2023

11月14日は世界糖尿病デー

企画・制作／徳島新聞社 営業局

## 「糖尿病」から「ダイアベティス」へ

徳島大学先端酵素学研究所糖尿病臨床・研究開発センター  
センター長・教授 松久 宗英

徳島県の大きな健康課題である糖尿病に対し、皆さんのイメージはどのようなものでしょうか。失明や人工透析の原因となり全身が悪くなる寿命の短い病気、あるいは悪い生活習慣や自己管理ができないため生じる病気、食事などを制限され医療者からとやかく言われる病気などいろいろあると思います。いずれも、医学が進歩する30年以上前の状態に基づく認識です。糖尿病をおこしやすい遺伝子が重なりあい、そこに社会構造の変化の影響により多くの方に糖尿病が発症します。同じ生活をしていても起こりやすい人と起こりにくい人があり、決して個

人の問題ではありません。特に最近の治療法の進歩により、糖尿病のある方の合併症が減り、寿命も糖尿病でない人と変わらなくなっています。しかし、社会には糖尿病に対する悪いイメージや偏見が依然あり、糖尿病のある方の治療に向き合う意欲を阻害しています。このようなイメージや偏見を払拭し、糖尿病のある方が普通に生活し、様々な貢献ができる社会を創るため、糖尿病の呼び名を変える活動が始まりました。ダイアベティスは世界共通の病名です。この病名の下、ダイアベティスのある方が笑顔で過ごせる社会を創っていきませんか。